



北大ラズベリー®

HOKUDAI RASPBERRY

小さな実、大きな夢。

北大の夢が、実を結びました。

ケーキやお菓子、お料理によく使われるラズベリー。

実は、99%が輸入品で、国内生産はわずか1%以下。

海外産のラズベリーは、高温多湿な環境に弱く

「日本では育てにくい作物」とされてきました。

この常識に挑んだのが、北海道大学 星野研究室です。

海外産ラズベリーと北海道に自生するキイチゴを

掛け合わせたら、北海道でも育てやすく、

かつ風味の良いラズベリーができるのではないかと。

耐病性はどうか。収穫量はどうか。食味や栄養はどうか。

「北大ラズベリー」とは、国産ラズベリー普及への挑戦の物語。

交配に交配を重ねた、研究者の夢の結実でもあるのです。



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道をラズベリーの名産地へ。

北海道に自生するキイチゴと海外産ラズベリーを掛け合わせ、100系統以上をテスト。たどり着いた新品種が「北大ラズベリー」です。耐病性が高く、収量が多く、風味の良い優良な系統のみをブランドとして認定。生産農家や提供店を広げながら、国産ラズベリーの普及拡大を目指しています。

01



北海道生まれで、 道内が栽培適地。

高温多湿に弱い海外産ラズベリーと北海道に自生する野生キイチゴを交配。交雑試験を重ねて病気に強く、北海道の環境に適した系統を選び出しました。

02



収量の多い 系統を厳選。

比較的収量の多いラズベリー栽培品種とキイチゴを交配。着果数、収穫数、全種子数を比較し、一般的なラズベリーより収量の多い傾向の系統を厳選しています。

03



年2回の収穫も可能。

夏と秋に収穫できる「二季なり」もあり、栽培のバリエーションが豊富です。系統によっては、年に2回、フレッシュな果実をお楽しみいただけます。

04



香りが強く、風味が良い。

海外産ラズベリーと北海道のキイチゴの特性を受け継いだ「北大ラズベリー」は、香りが強く、風味もよく、食のプロも高評価。ぜひ味わっていただきたい逸品です。

お問い合わせ

「食べられるお店が知りたい」「お店でつかってみたい」、「生産地について詳しく知りたい」等、技術相談や各種お問い合わせは、産学・地域協働推進機構ワンストップ窓口からご連絡ください。

ワンストップ窓口
はこちら ▼



国立大学法人北海道大学

産学・地域協働推進機構

〒001-0021 北海道札幌市北区北21条西11丁目

電話：011-706-9561 <https://www.mcip.hokudai.ac.jp/>

